

公共建築物の省エネ化を、民間事業で進めます！！

～年内に「南部病院」でESCO事業者を公募します～

横浜市は、区役所、病院、市民利用施設などにESCO事業を導入します。裏面説明あり

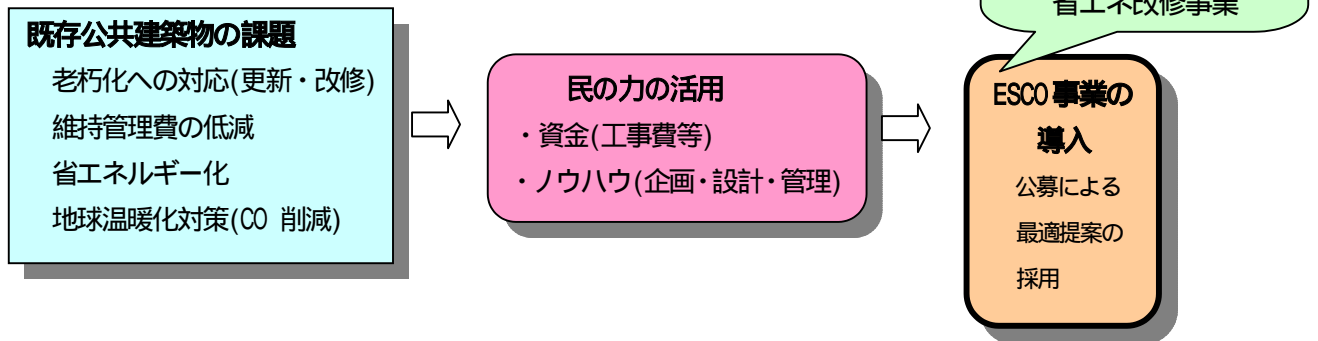
・昭和40、50年代前後に建設した公共建築物は、今後大量に老朽化の時期を迎えることになり、経年劣化した設備機器の改修・更新工事や増加する光熱水費が財政上の負担となること、老朽化した設備機器のエネルギー効率の低下(CO 排出)が環境負荷の増大を招くこと、などの課題を抱えています。

・このため、今後、区役所等の公共建築物の設備改修においては、初期投資なく既存施設の省エネルギー化や維持管理費の低減を図るため、民間の資金とノウハウを活用したESCO事業を積極的に導入していきます。

先行的なモデル事業として「横浜市南部病院」でESCO事業者を公募します。

・平成15年度は、本市の地域中核病院である、済生会横浜市南部病院において、ESCO事業者公募を恩賜財団済生会と共同で実施します。

1 区役所、病院、市民利用施設などの既存施設を対象に導入を検討・推進



2 先行的モデル事業の実施～済生会横浜市南部病院

本年12月中旬には事業者公募を実施し、先行的モデルとしてのESCO事業を推進します。

モデル事業の枠組み (詳細は公募時点で公表します)

対象施設 恩賜財団済生会横浜市南部病院 (建物を横浜市と概ね1/2ずつ所有)
・竣工：1983(昭和58)年 ・延床面積28,707㎡ ・病床数：500床

導入理由 ・竣工後20年が経過し、設備機器類が更新時期にきていること
・建物の維持管理費(光熱水費)の低減が求められていること

実施内容 ・熱源エネルギーを灯油から環境負荷の少ない気体燃料へ変更
・空調設備・熱源機器、照明機器等の更新・省エネルギー化

スケジュール <公募> 平成15年12月：ESCO事業者公募 平成16年3月：ESCO事業者決定
<事業> 平成16年度：改修設計・工事 平成17年度～：ESCOサービス開始

政令市初の
本格的な
ESCO事業です。

エ ス コ E S C O 事業について

E S C O 事業とは、既存建築物の設備改修において、民間の資金とノウハウを活用しながら、設備更新に係る初期投資なく省エネルギー化と維持管理費の低減を図ることができる事業手法です。

「P F I の省エネルギー改修版」ともいわれますが、一般的には、次のとおりの説明となっています。

1 E S C O 事業とは

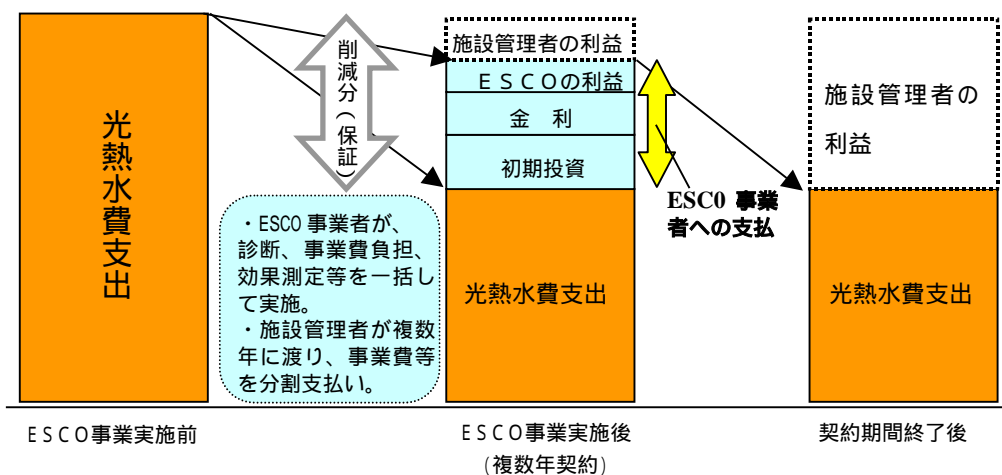
E S C O 事業とは、Energy Service Company の略称であり、工場やビルの省エネに関する包括的なサービス¹を提供し、今までの環境を低下させることなく省エネルギーを行い、その結果得られる省エネルギー効果を保証する事業です。

E S C O サービス料は省エネルギー削減額の一部から支払われます。

1 包括的なサービスとは、以下の全ての業務を一括して行います。

- (1) 省エネルギー方策調査のための診断・コンサルティング
- (2) 方策導入のための計画立案、設計・施工、
- (3) 導入後の省エネルギー効果の計測・検証
- (4) 導入した設備やシステムの保守・運転管理
- (5) 事業資金の調達・ファイナンス

2 E S C O 事業の経費と利益配分



3 国の支援策

ESCO 事業の計画策定、省エネルギー診断、改修工事等に対して、経済産業省資源エネルギー庁（実施主体：新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO））による事業資金の補助（国庫補助）や日本政策投資銀行等の金融機関による低利融資を受けることができます。